



# かかバやく子ども

～自立と共生の礎を培い、今と未来を豊かで創造的に生きる子どもを育てる学校～

## 《校外学習から得るもの》【百聞は一見に如かず】

6月4日、バスを使って3年生が社会科校外学習に出かけました。「JA草津市野菜センター」「草津駅～本陣付近の商店街」等を見学したり、「カントリーエレベーター」「工業団地」をバスの車窓から眺めたりすることが、主な学習活動です。担任が学習活動を仕組むときに、必ず照らし合わせ確認することは「小学校学習指導要領」です。



### 【小学校学習指導要領】社会科3年生内容（一部抜粋）

地域の人の生産や販売について、見学したり調査したりして調べ、それらの仕事に携わっている人々の工夫を考えるようにする。



社会科は、教科書や草津市が作成した「わたしたちの草津【副読本】」を使って学習しています。具体的には、掲載されている文や絵・写真等から、自ら考え、友だちとの意見を交流しながら、「学びの蓄積」をしているのです。

そして、いよいよ校外学習！！

### 校外学習後、子どもたちインタビューしてみました。

- ・ビニルハウスが、約2000コもかたまっている。中の温度は36度をこえていて、とても暑い。
- ・ビニルハウスには、ドアも窓もある。窓は、くるくるまわせば、開け閉めできる。
- ・土はさらさらしていて、学校の畑の土よりやわらかそうだ。
- ・ビニルハウスの中にはパイプがつりさげられていて、栓をひねれば、びわ湖から引かれた水をまくことができる。メロンは、植えてから一回だけ、たっぷり水をやるらしい。
- ・メロンとメロンが結婚して、もっとあまいメロンができたそうだ。・・・【品種改良】
- ・メロンをつくるのに、ハチが役にたっていることがわかった。【虫媒】
- ・メロンの葉は、ざらざらしていた。花の下のふくらみが、メロンになる。
- ・メロンには、プラスチックの座布団みたいなものを敷いて、キズがつかないように、そして形がよくなるようにしている。
- ・野菜の「冷蔵庫」は、家の「冷蔵庫」より大きい。冷蔵庫に、車が入ることができる。

今まで学んできたこと【学びの蓄積】を、校外学習に出かけ、人と出会い、見聞したことで確かめたり、さらに新たな学びにつながったりしました。【百聞は一見に如かず】

年間を見据えながら、学年ごとに校外学習を実施させていただきます。経済的なご負担をかけることや事前の準備、時には朝早くからの弁当づくりなど何かとご支援をいただくこととなりますが、どうかよろしくお願い申し上げます。

つぎ かいわ むすか かん し  
次の会話は、難しく感じるかも知れません。

### 「二人の裁判官の会話」

二人の裁判官（AとB）が、夕食後、仕事のことについて語り合っています。

**A裁判官**・・・「今日の裁判の剪を、どうしましょうか？」

と、A裁判官がもう一方のB裁判官に話しかけました。すると意見を求められたB裁判官は、

**B裁判官**・・・「あなたは、そのようなことに私が答えられないということをご存じではありませんか。彼の父親は、5年前に死んでしまったというだけでなく、彼は私の息子でもあるのですから・・・」

と、答えました。・・・引用元不明

この「二人の裁判官の会話」を一読しただけで、意味を理解できるとすばらしいのですが、なかなか理解できないことが多いかも知れません。

★二人目のB裁判官は、どうして被告を“私の息子”と言ったのでしょうか？

★被告の父親は5年前に亡くなっています。意味が通じない話だと思いませんか？

もし、この会話に出てくる裁判官を二人とも「男性だ」と考えていたら、この話はどうしても意味が通りません。しかし二人目のB裁判官は、被告になっている男の母親（女性）だと読むと話は通じるのです。人は、人生経験の分だけ、たくさんのことを学び、生活を豊かにしてきました。しかし、残念なことではありますが、その学びの中には不合理な考え方や偏見あるいは差別などを自然と受け入れ、誤った固定観念がつけられているかも知れないのです。学校教育の中では、不合理な考え方や偏見あるいは差別をとりあげ、誤った固定観念を払拭させる人権学習（人権教育）が必要であると考えています。

さて、子どもたちに「人権て、何ですか。」と質問されたら、どのように答えますか。辞書を引くと、「人間が人間として生まれながらに持っている権利」とか「基本的人権」などと書いていますが、辞書だけの答えでは、子どもには理解できないことでしょう。ある講演で、「人権」とは、「くだもの」のようなものだと教えていただいたことがあります。「くだもの」といっても、一言ですぐに説明できません。「くだもの」の中には、例えばバナナがあり、バナナはこんな形をしていて、こんな食べ方ができる。「くだもの」の中には、例えばリンゴがあり、リンゴはこんな形で芯もあり、こんな栄養がある。パイナップルは、こんな実の付き方をし、味はこんな味だ・・・などとたくさんのものから、「くだもの」について説明できることになるでしょう。「人権」についても、一言ですぐに説明できませんが、「いのちとは、…」「障がいとは、…」「高齢者とは、…」「子どもとは、…」「同和問題とは、…」など、いろいろな視点から学ぶことで、「人権とは何か」が説明でき、だれもが幸せに暮らすことの大切さを学ぶことができると思います。また、子どもだけでなく大人が人権について学ぶことは、人権感覚が磨かれ、「今までの自分が変わる。」ことだとも言えます。

- ・自分が変わると、きっと家族に影響を与えるはずです。（親なら、子育てに影響するはずです。）
- ・自分が変わると、きっと親戚や住んでいる周りの人に影響を与えるはずです。
- ・自分が変わると、きっと友達や職場の人に影響を与えるはずです。

自分が変わり「人権を大切にしていこう」とする小さな渦のようなものが、あちこちで現われ、その小さな渦の集まりが大きな波のうねりとなって、人権が尊重された社会の実現につながってほしいと思っています。ご多用のこととは存じますが、6月26日人権教育に関する学習

参観・懇談会（過日文書配布済）にお越しください。